7　芸術（美術）

学校番号	3020

令和２年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２　（日本文教出版）						
副教材等	（無し）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術Ⅱの授業では、美術Ⅰで学んだことをふまえ、その内容をより深めていく課題と、新たな材料、用具を経験する課題に取り組みます。それぞれの課題に、主体的に取り組むことで自分にしか出来ない表現方法や、課題への「答え」を探っていきましょう。

また「鑑賞」についても､その意義を理解して作品制作と同等に意欲的に取り組み､更に視野を広め知識を深めてより高い鑑賞力を身につけて欲しい。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美的体験を豊かにし、美術文化についての理解を深め、表現や鑑賞の創造活動に主体的に取り組み、試行錯誤しながら進めている。	自然、自己、社会などを深く見つめ、感じ取ったことや、考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的で効果的な表現の構想を練っている。	創造的で効果的な表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを多様な視点から分析、理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
主たる評価方法	*ワークシート *制作活動の様子 *作品	*アイデアスケッチ *制作活動の様子 *作品	*アイデアスケッチ *作品	*レポート *鑑賞活動の様子や発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	B	c	d		
1学期	油絵制作『自我(画)像』その(1)	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・教科書等で複数のイメージを組み合わせて構成された絵画作品を鑑賞し、写実のみの構成とは異なる表現を学ぶ。 ・自分の顔写真、自分に関連のある複数のモチーフを組み合わせた構成を考え、油彩画を制作する。 ・制作 ①デッサン；写真を見て自分の顔を描写する ②アイデアスケッチ；自分らしさを演出するポーズとモチーフや構図についての構想 ③下絵；顔の描き方；資料を参考に、頭部のプロポーションや目鼻口などの形態を学ぶ	○	○		○	a:テーマにそって自己の内面と向き合いながら表現することに関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b:テーマにそって主体的に主題を生成し、表現方法を工夫している。 d:作者の意図を感じ取り、自身の作品制作に反映させようとしている。	*制作活動の様子 *アイデアスケッチ *作品(下絵) *鑑賞活動の様子
夏休み課題	『高校展』鑑賞	【鑑賞】 府内の同年代の生徒達による、他分野にわたる美術・工芸作品の鑑賞を通じて、美術・工芸に対する幅広い視野と鑑賞力を高める。				○	d;同年代の生徒作品の鑑賞を通じて、その良さや美しさ、作者の意図や表現の工夫を感じ取り、作品への理解を深めるなど鑑賞力を高めている	*鑑賞レポート

2学期	油絵制作『自我(画)像』その(2)	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・制作 ④キャンバスに下描き ⑤描画 ⑤鑑賞と講評			○	○	c:これまでの油彩画制作の経験をふまえ、材料や用具の特性をより生かせる方法や新たな表現を模索している。 d:他の生徒の作品を鑑賞し、その良さや美しさ、作者の意図や表現の工夫を感じ取り、作品への理解を深めている。	*制作活動の様子 *作品 *鑑賞活動や発言内容の様子
	立体オブジェ『喜・怒・哀・楽』その(1)	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・ことばのイメージを立体造形で表現する。 ・線材(アルミ棒)と塊材(バルサ材)による立体構成 ・抽象表現だからこそ伝わること、感じ取れること。 ・制作 ①図版で抽象彫刻を鑑賞 する;形や素材などから感じること? ②ワークシート ことば(喜・怒・哀・楽)を、それぞれ単純な線や形で表現する ③アイデアスケッチ;喜・ 怒・哀・楽の中から一つ を選び、それをテーマに アイデアを進める	○	○		○	d:作品から、作者の意図、創造的な表現の工夫を多様な視点から分析、理解し、その良さを味わっている。 a:立体制作や抽象的な表現に興味・関心を持ち、積極的に制作活動に取り組んでいる。 b:表現の可能性を試行錯誤しながら創造的で効果的な構想を練っている。	*鑑賞活動の様子や発言内容 *制作活動の様子 *ワークシート *アイデアスケッチ

3学期	オブジェ『喜・怒・哀・楽』その(2)	【絵画･彫刻】【鑑賞】 ・制作 ④本体制作；アイデアスケッチを元に支柱部分(アルミ棒)と、バルサ材を加工し、台座部分に取り付ける ⑤修正；④で出来た形が設定したテーマをよく伝えているか、様々な角度から眺めて修正する。 ⑥着色 ⑦鑑賞と講評	○	○	○	○	a:テーマに関心を持ち、表現の可能性を模索している。 b:テーマをよく考え、幅広く感性をはたらかせて主題を生成している。 c:素材や道具の使い方を理解し、創造的で効果的且つ安全に使用して表現するための工夫をしている。 d：他の生徒の作品から、作者の意図、創造的な表現の工夫などを多様な視点から分析、理解し、そのよさを味わっている。	*制作活動の様子 *アイデアスケッチ *作品 *鑑賞活動の様子や発言内容
	『音楽会&造形二科展』鑑賞	【鑑賞】 校内で他分野を選択する生徒作品の鑑賞を通じて、芸術に対する幅広い視野と鑑賞力を高める				○	d;音楽や書道など、他の分野を学ぶ生徒達の作品鑑賞を通じて、美術には無い良さや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、作品への理解を深めるなど鑑賞力を高めている。	*鑑賞レポート

◆表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度
b:発想や構想の能力
c:創造的な技能
d:鑑賞の能力

◆原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けて行なう観点）について○を付けている。